

Extended safety data sheet (e-SDS) for ATO+Sb to be used to check compliance

ATO、Sbのコンプライアンスをチェックするための拡大安全性データシート

三酸化アンチモン (ATO)、アンチモン (Sb)、ヘキサヒドロキソアンチモン酸ナトリウム (SHHA) のREACH登録を2010年9月に無事完了した後、i2aはATO、Sbの拡大安全データシート (eSDS) の定型版をi2aメンバーに提供しました。eSDSには暴露シナリオ (ES) のみならず最新の科学情報も盛り込まれています。

REACH規則 (EC) 1907/2006によれば、川下ユーザー (DU) は以下の行動が求められています。

- ESが自社と顧客の使用目的に適しているかどうかチェックすること。何故なら、暴露は提供されたESの範囲内に収まらなければならないからです。
- 暴露がESの範囲内に収まらない場合には、独自の化学安全評価を実施すること。

i2a は川下ユーザーが物質の“安全な使用”をチェックするために、：[“ES: Eurometaux guidance for Dummies”](#) と [“guidance on how to check environmental compliance with the ES”](#) の2つのガイドラインを作成します。i2a はeSDSが実用的でなければならないと認識しており、サプライチェーンの川下に関してより詳細な情報が入手された都度、アップデートされ改善されることとなります。

5 REACH dossiers ready this year: ahead of the 2013 deadline.

2013年が登録期限のアンチモン5物質のREACH資料も今年中に完成

i2aメンバーは残された5物質についてのREACH登録資料を期限の2013年より早く2011年末までに完成することを決定しました。これらの5物質とはアンチモン酸ナトリウム、五酸化アンチモン、アンチモントリエチレングリコレート、三塩化アンチモン、三硫化アンチモンです。我々はSIEF (物質情報交換フォーラム) を通じて繰り返し情報伝達に努めていますが、これらの物質の1つでもREACH登録しようとしている企業に対し、コストを最小限にとどめ、作業の重複を回避し、さらにこれらの物質のREACH登録資料の作成に力を結集するために、出来る限り速やかに我々とコンタクトをとるよう、ここに再度呼びかけます。

Notification of classifications to ECHA.

“分類”を欧州化学物質庁 (ECA) に通知

我々はメンバーが取り扱う10物質について、物性や不純物レベルの違いに基づく“分類”を [i2a website](#) に掲載しています。これらは現行のCLP (分類・ラベル・包装) 規則に則った独自の“分類”であり、現在入手可能な科学的研究成果に基づいています。これらの“分類”はすべて我々のメンバーからECHAに期限 (2011年1月3日) までに通知されました。ECHAは通知されたすべての“分類”を2011年夏以降に公表します。i2aと異なる、または不一致の“分類”を見かけた場合にはi2aにご一報下さい。

Use of ATO in E&E equipment complies with new RoHS directive.

E&E機器に使用されるATOは新ROHS指令に適合

欧州連合閣僚理事会は5月27日、欧州議会が2010年11月24日に承認した電気・電子機器（E&E）中の有害物質規制（RoHS）に関する新たなEU指令を公式に採択しました。新RoHS指令にはE&E機器への使用が制限される物質のリストが掲載されています。入手可能な科学データによれば、ATOはE&E に安全に使用されていることから、2011年 7月1日に公表される新RoHS指令（2011/65/EU）はATOに言及しておらず、このことはATOがE&E機器に引き続き制限されることなく使用できることを意味します。

New publications available.

出版物のご紹介

i2aは新たに発表される科学論文を定期的にフォローアップしています。

2011年5月27日付 “Biological Trace Element Reserch” 紙にコペンハーゲン大学薬学分析化学部属Claus Hansen 博士が “Reduction of Sb(V) in a human Macrophage cell line measured by HPLC-MS” を発表しました。
[http://dx.doi.org/10.1007/s12011-011-9079-9.](http://dx.doi.org/10.1007/s12011-011-9079-9) で自由に閲覧可能です。

カナダ天然資源省鉱物エネルギー技術カナダセンター（CanMeT）のJim Skeaff博士はi2aが委託したすべてのアンチモン化合物の形質転換/分析実験に関する論文の掲載を予定しています。実験の成果は2010年10月に開催された環境毒性化学学会（SETAC）の会合で発表されました。“Transformation/Dissolution Examination of Antimony and Antimony Compounds, with Speciation of the T/D Solution” と題するこの論文は2011年下期にSETACの機関誌 “Integrated Environmental Assessment and Management(IEAM)” に掲載される予定です。この機関誌では環境問題の科学的な意志決定、規制、管理に焦点が当てられており、具体的には政策や法律の側面、環境問題を解決する際の科学的なアプローチの開発などが取り上げられています。

i2aのウェブサイトでは “i2a position paper on Persistence/Bioaccumulative and Toxic(PBT) properties of antimony” 、 “factsheet ATO” 、 “factsheet Sb” が閲覧可能です。

New membership

新加入メンバー

i2aはChemetall GmbHが新メンバーとなったことを歓迎します。

i2aは北米金属評議会（NAMC）、欧州難燃剤協会（FERA）の会員になりました。

Upcoming events

今後の予定

2011年8月21-24日 第2回アンチモン国際環境ワークショップ（独イェーナ）
2011年9月28日 i2a理事会（ブリュッセル）
2011年9月29日 i2a総会（ブリュッセル）

i2a contacts

i2a連絡先

役 職	氏 名	電子メールアドレス	電話番号
理事会議長	CA Rougier	charles-antoine.rougier@sudamin.com	+33 (0) 1 4771 1616
総会議長	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+32 (0) 1 4601 549
事務局長	Karine Van de Velde	kvdv@antimony.be	+32 (0) 3 297 60 92
事務部長	Nathalie Francis	Nathalie@antimony.be	+32 (0) 2 762 30 93
科学部長	Jelle Mertens	Jelle@antimony.be	+32 (0) 2 771 26 68